

日本都市学会ニュース NO. 39

2014. 11. 30

発行 日本都市学会 〒460-0008 名古屋市中区栄4-12-26 栄CDビル5A OASIS都市研究所内
 TEL 052-252-7741/FAX 052-251-5058
 郵便振替 00130-0-512255/三菱東京UFJ銀行栄町支店普通口座 0126767
 <e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/

日本都市学会第61回大会開催

日本都市学会第61回大会は、2014年10月24日(金)～26日(日)の間、京都市の同志社大学今出川校地を会場として、「都市・文化・まちづくりー新しい都市学の成立をめざしてー」をテーマに開催されました。

快晴の24日午後1時、Aコース「京都の都心景観と京町家を観る」、Bコース「伝統と文化の町東山を歩く」の2つのコースでのエクスカージョンで大会がスタートしました。

翌25日(土)9時から12時20分まで研究発表Iとして、同志社大学至誠館の3つの会場で合計30件の発表がありました。

13時から明徳館2階へ会場を移して、戸所隆日本都市学会会長と碓井照子近畿都市学会会長の開会あいさつに続いて、尾池和夫京都造形芸術大学学長から特別講演「京都百万年の歴史」が、門川大作京都市長から「世界の文化首都の役割を担う京都の挑戦」と題する基調講演がありました。

14時25分からは大会テーマ「都市・文化・まちづくりー新しい都市学の成立をめざしてー」によるシンポジウムが開催され、徳岡一幸同志社大学教授の司会進行で、山田浩之京都大学名誉教授による趣旨説明のあと西口泰夫(株)HANDY社長・元京セラ社長、平竹耕三京都市文化市民局長、宗田好史京都府立大学教授の各氏から報告があり、会場からの質問を交えて熱心な討議がなされました。



京町家を視察するエクスカージョン参加者

16時30分から日本都市学会賞(奥井記念賞)および日本都市学会論文賞の授賞式が行われ、引き続き日本都市学会総会が開催されました。

18時から懇親会が同志社大学寒梅館7階の「french restaurant will」を会場に開かれ、多くの会員、来賓が出席し、なごやかな時間を過ごしました。

翌26日(日)は、9時から研究発表IIとして前日と同じ会場で30件の発表があり、熱心な討議が行われました。12時20分にはすべての大会スケジュールが終了しました。

今回の研究発表数は総計60件と過去最大だった昨年と同数でした。参加者数は224人で、このうち一般参加者は74人ありました。エクスカージョン参加者は38人、懇親会参加者は81人でした。

歴史的建造物に囲まれた同志社大学構内の落ち着いた雰囲気と連日の好天の下、多数の参加者を得て、すばらしい大会だったと思います。

主催の近畿都市学会、後援をいただいた京都市、同志社大学はじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。

2014年度総会報告

2014年度総会は、10月25日(土)17時から同志社大学明徳館2階で開催され、碓井照子近畿都市学会会長を議長に選出して以下の6議案が審議され、いずれも異議なく原案どおり議決されました。また引き続き4件の報告がなされ、いずれも承認されました。

- 議案1 2013年度事業報告
- 議案2 2013年度決算
- 議案3 2014年度事業計画
- 議案4 2014年度予算
- 議案5 2015・2016年度会長、監事の承認
- 議案6 2014年度理事の承認
- 報告1 2014年度日本都市学会賞(奥井記念賞)について
- 報告2 2014年度日本都市学会論文賞について
- 報告3 日本都市学会第62回大会について
- 報告4 日本都市学会会員数の状況

2013年度事業報告

(1)日本都市学会第60回大会の開催

開催日時 2013年10月25日・26日・27日
 開催学会 中四国都市学会
 開催都市 香川県高松市
 開催テーマ 「地方都市と国際化・国際交流」
 参加者数 139人 研究発表数 60件

(2)日本都市学会年報の発行

VOL.46「都市の進化」(2013年5月31日発行)

(3)論文審査委員会の開催

第1回 2013年10月25日 論文審査方法、審査スケジュール等の確認

(4)学会賞の選定

2013年4月30日 推薦等締め切り
 2013年9月8日 選考委員会開催、同日第2回理事会において決定
 2013年10月26日 大会において授賞式

(5)日本都市学会総会の開催

2013年10月26日

(6)理事会および常任理事会の開催

第1回理事会(2013年6月16日)
 常任理事の指名、日本都市学会事務局長設置規程、2012年度事業報告・決算案、2013年度事業計画・予算案、各事務局からの報告、第59回大会報告、第60・61回大会予定、その他
 第2回理事会(2013年9月8日)
 第60回大会について、学会賞、論文賞の選考について、各事務局報告、第61回大会について、60周年記念事業について、学会賞関連規程の見直しについて、その他
 第3回理事会(2013年10月25日)
 第60回大会について、2013年度学会賞等の選考結果について、2013年度論文審査について、年報第47号編集・刊行スケジュールについて、学会賞関連規程の見直しについて、総会提出議案について、60周年記念事業について、その他

第1回常任理事会(2014年3月16日)

分散事務局報告、2013年度事業報告案・決算見込み、2014年度事業計画・予算案、61回大会予定、その他

(7)日本都市学会ニュースの発行

日本都市学会ニュースNo.36 2013年7月7日
 日本都市学会ニュースNo.37 2013年12月25日

(8)新しい都市学を考えるWG

各地域都市学会で検討

(9)60周年記念事業

60周年記念事業として「日本都市学会大会の60年」を刊行

2013年度決算

(自2013年4月1日 至2014年3月31日)

収入の部

(円)

科目	予算	決算
学会会費(当該年度分)	2,000,000	1,942,800
学会会費(過年度分)	0	0
年報売上等	630,000	481,000
雑収入	70,000	53,078
前年度繰越金	943,866	943,866
計	3,643,866	3,420,744

支出の部

(円)

科目	予算	決算
大会関係費	350,000	350,000
理事会・常任理事会関係費	700,000	550,965
論文審査委員会関係費	100,000	35,916
年報関係費	1,150,000	719,591
(VOL.46)	(1,050,000)	(693,012)
(VOL.47)	(100,000)	(26,579)
学会賞関係費	150,000	58,917
事務局経費	800,000	697,567
備品費	10,000	0
雑費	60,000	10,435
予備費	323,866	0
次年度繰越	0	997,353
合計	3,643,866	3,420,744

2014年度事業計画

(1)日本都市学会第61回大会の開催

開催日時 2014年10月24日・25日・26日
 開催学会 近畿都市学会
 開催都市 京都市
 開催テーマ 「都市・文化・まちづくりー新しい都市学の成立をめざしてー」

(2)日本都市学会年報の発行

VOL.47「地方都市と国際化・国際交流」

(3)論文審査委員会の開催

第1回 2014年10月 編集作業の確認等
 第2回 2014年12月 担当委員および査読者の決定等

(4)日本都市学会賞の選定

2014年4月30日 推薦等締め切り
 2014年9月7日 選考委員会開催、同日第2回理事会において決定

2014年10月25日 大会において授賞式

(5)日本都市学会総会の開催

2014年10月25日

(6)理事会および常任理事会の開催

第1回理事会（2014年6月8日）

2013年度事業報告・決算案、2014年度事業計画・予算案、第60回大会報告、第61・62回大会予定、各事務局からの報告他

第2回理事会（2014年9月7日）

2014年度学会賞・論文賞等の決定、第61回大会予定、各事務局からの報告他

第3回理事会（2014年10月24日）

総会提出議案の決定、第61回大会直前確認事項、第62回大会予定、各事務局からの報告他
第1回常任理事会（2015年3月）

2014年度事業報告・決算見込み、2015年度事業計画・予算案等、第61回大会報告、第62回大会予定、各事務局からの報告他

(7)日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス

日本都市学会ニュースNo.38 2014年7月

日本都市学会ニュースNo.39 2014年11月

(8)新しい都市学を考えるWG

各地域都市学会でWG・議論を行う

2014年度予算

（自2014年4月1日 至2015年3月31日）

収入の部

科 目	2013年度	2014年度
学会会費（当該年度分）	2,000,000	2,000,000
学会会費（過年度分）	0	0
年 報 売 上 等	630,000	630,000
雑 収 入	70,000	70,000
前 年 度 繰 越 金	943,866	997,353
計	3,643,866	3,697,353

支出の部

科 目	2013年度	2014年度
大 会 関 係 費	350,000	400,000
理事会(常任理事会)関係費	700,000	700,000
論文審査委員会関係費	100,000	100,000
年 報 関 係 費	1,150,000	1,150,000
(VOL.47)	(1,050,000)	(1,050,000)
(VOL.48)	(100,000)	(100,000)
学 会 賞 関 係 費	150,000	150,000
事 務 局 経 費	800,000	500,000
備 品 費	10,000	10,000
雑 費	60,000	60,000
予 備 費	323,866	627,353
合 計	3,643,866	3,697,353

2015・2016年度会長および監事

次年度以降の会長および監事がつぎのように総会で承認されました。

会長 堂前 亮平（九州）

監事 高山 正樹（近畿）、檜 貢（関東）

2014年度第2回理事会

第2回理事会は、9月7日(日)13時30分～16時、名古屋都市センター第1会議室で開催され、戸所隆会長、千葉昭彦、増田聡、井上繁、土居洋平、高田弘子、林上、久隆浩、山崎健、碓井照子（代理山田浩之）、豊田哲也、外井哲志、堂前亮平の各理事、森傑、熊田俊郎、磯部友彦、大塚俊幸、小長谷一之、由井義通、堤昌文の各常任理事、石田信博大会事務局長（代理井上馨）、杉野尚夫本部事務局長が出席しました。

議事の概要は以下のとおりです。

(1)越澤理事の辞任について

越澤理事が関東都市学会への移籍に伴い理事を辞任することが承認されました。

(2)第61回大会について

山田大会実行委員長よりエクスカッションコースをはじめプログラムの詳細について説明が、研究発表については山崎理事より説明があり、原案どおり承認されました。

(3)学会賞事務局報告

日本都市学会賞（奥井記念賞）について、磯部選考委員長より選考経過等について説明があり、千葉昭彦「都市空間と商業集積の形成と変容」および松橋達矢「モダン東京の歴史社会学―「丸の内」をめぐる社会空間の変容」の2点について日本都市学会賞にふさわしいとの報告があり、原案通り決定されました。

論文賞については外井選考委員長より選考内容について説明があり、金城敬太「東日本大震災の調査をもとにした避難行動についての個人や社会からの影響の分析」がふさわしいとの報告があり、原案どおり決定されました。

(4)年報事務局報告

9月9日に完成の予定、抜き刷りはさらに1週間後になる、総ページ数377頁になったとの報告がありました。見通しの甘さにより遅れたことなどの説明がありました。

(5)論文審査事務局報告

①不採択になった論文を翌年度再投稿できるかどうか、②発表年度と投稿年度の関係をどうするか、について議論がありました。結論として、不採択に

なった論文については再投稿は不可ということになりました。発表年度と投稿年度の関係については、論文審査委員会で検討することになりました。

(6)会員の退会処分の取り消しについて

本部直属の会員について第1回理事会において行った退会処分を取り消し、本人の申し出による退会を承認しました。

(7)会長選挙について

第1回投票の結果、過半数の得票者がいなかったため第2回の投票を行う手続きについて報告がありました。

(8)その他

監事の改選について、佐藤監事の任期が6年と長期になるので交替をしていただき、今後は2期4年を原則として順繰りに交替することになりました。佐藤監事の後任の候補選任案については、会長と事務局長に一任することになりました。

このあと、各地域都市学会会長から地域都市学会の活動報告がありました。

2014年度第3回理事会報告

第3回理事会は、10月24日（金）18時～20時、京都市内の「ひと・まち交流館 京都」ワークショップルームで開催され、戸所隆会長、千葉昭彦、井上繁、西野淑美、林上、高田弘子、碓井照子、久隆浩、山崎健、寺谷亮司、豊田哲也、堂前亮平、外井哲志の各理事、森傑、土屋純、熊田俊郎、磯部友彦、大塚俊幸、小長谷一之、由井義通、堤昌文の各常任理事、佐藤直由、高山正樹の両監事、大会担当の山田浩之、石田信博、井上馨および杉野尚夫本部事務局長が出席しました。議事の概要は次のとおりです。

(1)第61回大会について

大会開催準備の経過、25日からの日程等について報告がありました。

(2)次期会長および監事について

次期会長には選挙結果により堂前亮平先生（九州）に、高山監事には留任、佐藤監事の後任に檜楨貢先生（関東）をお願いすることです承されました。

(3)学会賞事務局報告

学会賞授賞式に読み上げる選考理由書について原案どおり了承されました。また、次年度の学会賞等選考日程について報告がありました。

(4)年報事務局報告

年報第47号の作成経過および経費について、また第48号の編集予定についても報告がありました。

年報経費が少し高いのではないかとの指摘があり、従来の経費との比較などの議論がなされました。次年度については少しでも節減するように検討することになりました。

(5)論文審査事務局報告

査読付き論文について、不採択者の再投稿を禁止するため、投稿要領の改正案が提案され、原案どおり承認されました。

(6)第62回大会について

第62回大会の開催計画について報告がありました。共催、後援等の団体の取扱については大会事務局に一任することで了承されました。

(7)総会議案について

総会議案について事務局原案のとおり総会に提出することで、了承されました。

(8)その他

事務局から、毎年総会の開催時期が遅く、実態として事業がほとんど終わってから事業計画等が総会に諮られるという状況に対して、総会の時期を早めることについて検討したらどうかとの提案がありました。いろいろ意見が出されましたが、続けて検討していくことになりました。

最後に戸所会長から、会長退任後「新しい都市学会を考えるワーキング」について取り組んでいきたい旨の意見表明がありました。

2014年度第4回理事会報告

第4回理事会は、緊急性を要するため、メール審議の臨時理事会として11月20日開催されました。議題は次の1件のみです。

(1)任期満了による論文審査委員会委員の後任委員の選任について

理事、常任理事総数の過半数の賛成により、新たに山下博樹（中四国）、鹿嶋洋（中部）、寺町賢一（九州）、米本清（関東）の4人の委員が選任されました。

2014年度日本都市学会賞等決まる

2014年度第2回理事会において、2014年度日本都市学会賞（奥井記念賞）には千葉昭彦氏（東北）、松橋達矢氏（関東）、日本都市学会論文賞には金城敬太氏（東北）に決まりました。本年度は特別賞は該当がありませんでした。

授賞式は、2014年10月25日日本都市学会第61回大会の場で行われ、戸所隆会長から賞状と記念品が手渡され、引き続いて各受賞者からスピーチがありました。

日本都市学会賞（奥井記念賞）

千葉昭彦著『都市空間と商業集積の形成と変容』
原書房、2012.5.22発行、東北都市学会推薦

(選考理由)

本書は、郊外の宅地開発が日本都市の空間構造を大きく変化させ、それが都市の商店街の立地環境の変化を導き、中心商店街の衰退を含めた商業集積地の盛衰を結果させたとする認識に立ち、仙台をはじめとする東北地方の都市を対象に、その立証を展開したものである。宅地開発や商業集積の立地などに関しては、個々の研究対象とされることが多い中で、本書はこれらを一体的に捉え、対症療法的に行われてきたこれまでの商店街活性化策を見直し、需給関係を考慮した商業集積地と居住空間の一体的整備の必要性を説いている点に独創性を見出すことができる。理論的分析にはやや物足りなさを感じるが、様々な事例を用いた中心商店街の実証研究をもとにして、その成果をまちづくりの基礎的資料として提示しようとする著者の長年にわたる研究の集大成といえる。

日本都市学会賞（奥井記念賞）

松橋達矢著『モダン東京の歴史社会学—「丸の内」をめぐる想像力と社会空間の変容』ミネルヴァ書房、2012.1020発行、関東都市学会推薦)

(選考理由)

本書は、都市社会学の重要な潮流のひとつである新都市社会学の系譜に立ち、東京都心の業務地区である「丸の内」を研究対象として事業者に対するアンケートも含めて実証的に都市空間の意味を考察したものである。都市社会学を基盤としながらも、歴史学、地理学、都市計画といった他の学問分野の研究視点も取り入れながら、豊富な史資料や独自のアンケート調査で得られたデータを用いて丹念に考察した労作であるといえる。個々の論証においてさらなる研究の余地を残しているが、都市社会学の新たな分野を切り開こうとした点は、都市研究の進歩発展のために意義があるものとして評価できる。テーマの関係からやや難解な面はあるが、2020年を一つの目安として今後も変容すると思われる東京という都市とそのまちづくりを発展的に議論する上で刺激的な知見を示している意欲作といえる。

日本都市学会論文賞

金城敬太著『東日本大震災の調査をもとにした避難行動についての個人や社会からの影響の分析』日本都市学会年報45号、2012年5月発行

(選考理由)

本論文は、先の東日本大震災において、13135人の死者のうち津波による溺死者が9割を超えた事実

を重視し、生存者への質問紙調査に基づいた分析によって、生存者が津波から避難できた要因を明らかにした論文である。

本論文は、この調査データを状況要因、個人要因、家庭要因、情報要因、避難行動要因に関して統計的に詳細に分析したのち、震災時の津波避難行動に関するdecision tree（決定木）を応用した説明力の高いモデルを構築している。そして、それに基づいて震災の際に住民が何をどのように判断し、避難したか、生存者と死者を分けたものは何であったかに関して精緻な分析を行い、結果として、避難度は災害時の場所で大きく異なり、自宅や移動中よりも会社や学校など自宅以外の建物内にいた場合に避難度が高くなること、自宅にいた場合にも家族の喚起や近所の人との同伴での避難、警報の認知などが避難度を高めた、などの興味深い分析結果を示している。

これらの結果は将来の防災計画に寄与する有用な情報を提供しており、社会に対する貢献が大きい。また、本論文は、仮説の設定、統計的な検証、モデル分析による結論の導出など論文として必要な形式を備えている。よって、日本都市学会論文賞選考委員会は本論文を2014年度の論文賞に値すると評価した。

第62回大会は上越市で開催します

第62回大会は上越市で下記のように開催する予定です。詳細が決まり次第ホームページに掲載してまいります。会員の皆様にはスケジュールの調整をよろしくお願ひします。

開催学会 関東都市学会
開催都市 新潟県上越市（直江津学びの交流館、ホテルハイマート）
開催時期 2015年(平成27)10月30日～11月1日
大会テーマ 「新幹線を活かした地方都市のまちづくり」(案)

日本都市学会年報VOL.47が発行されました

日本都市学会年報VOL.47は、9月上旬に発行され、会員各位へ送付されました。本号は、特集「地方都市と国際化・国際交流」で高松大会の基調講演、シンポジウムなどの内容が収録され、査読付き論文30編、無審査論文7編、戸所隆会長による日本都市学会大会60周年記念講演記録および学会の諸記録などが掲載されています。

学会員以外でもご希望の方には1冊3,000円でお頒けしております。注文は年報担当事務局まで。

2015年度学会賞等を募集します

2015年度の学会賞（奥井記念賞）等の募集が始まります。2月下旬に、学会賞担当事務局から各地域都市学会事務局あてに推薦依頼をお送りします。各地域都市学会では、現物5部および推薦理由を沿えて4月末日までに学会賞担当事務局まで送付して下さい。

6月上旬から選考委員の選考作業が開始され、9月開催予定の選考委員会で選考結果をとりまとめ、理事会において決定されます。

2014・15年度論文審査委員会委員決まる

- 委員長 山下博樹(都市地理学・中四国)
- 副委員長 梶田佳孝(都市計画学・九州)
- 委員 鹿嶋 洋(経済地理学・中部)
- 委員 寺町賢一(都市交通・交通計画学・九州)
- 委員 米本 清(都市・地域経済学・関東)
- 委員 和田清美(都市社会学・関東)

2014年度日本都市学会役員(10.25現在)

- 会長 戸所隆 (関東)
- 理事 増田聡 (東北)、千葉昭彦 (東北)、井上繁 (関東)、土居洋平 (関東)、西野淑美 (関東)、高田弘子 (中部)、林上 (中部)、久隆浩 (近畿)、山崎健 (近畿)、碓井照子 (近畿)、豊田哲也 (中四国)、寺谷亮司 (中四国)、堂前亮平 (九州)、外井哲志 (九州)
- 常任理事 森傑 (北海道)、土屋純 (東北)、熊田俊郎 (関東)、磯部友彦 (中部)、大塚俊幸 (中部)、小長谷一之 (近畿)、由井義通 (中四国)、堤昌文 (九州)
- 監事 佐藤直由 (東北)、高山正樹 (近畿)
- 事務局長 杉野尚夫 (中部)

分散事務局

- 本部事務局 (中部都市学会)
460-0008 名古屋市中区栄4-12-26
栄CDビル5A OASIS都市研究所内
TEL 052-252-7741 FAX 052-251-5058
事務局長：杉野尚夫
e-mail : info@toshigaku.org
- 年報担当事務局 (関東都市学会)
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698
駿河台大学法学部 熊田俊郎研究室
TEL・FAX 042-974-7001 (直通)
責任者：熊田俊郎

- e-mail : tkumada@surugadai.ac.jp
- 学会賞担当事務局 (中四国都市学会)
739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1
広島大学大学院教育学研究科社会認識教育研究室
内 責任者：由井義通
TEL・FAX 082-424-6804
e-mail : yyui@hiroshima-u.ac.jp
- 論文審査担当事務局 (九州都市学会)
〒819-0395 福岡市西区元岡744番地
九州大学大学院工学研究院環境都市部門 (土木)
責任者：外井 哲志
TEL 092-802-3410 FAX 092-802-3361
e-mail : toi@civil.doc.kyushu-u.ac.jp

地域都市学会事務局

- 北海道 062-8520札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1
都市地域 札幌大学女子短期大学部経営学科小山研
学 会 究室内 TEL 011-852-9342 (直通)
<e-mail> koyama-s@sapporo-u.ac.jp
- 東 北 970-8034 福島県いわき市平上荒川字
都市学会 長尾309
福島工業高等専門学校コミュニケーション
情報学科田渊義英研究室気付
TEL 0246-46-0850
<e-mail> tabuchi@fukusima-nct.ac.jp
- 関 東 112-8606 東京都文京区白山5-28-20
都市学会 東洋大学社会学部社会学科西野淑美研
究室内
TEL 03-3945-7453/FAX 03-3945-7453
<e-mail> y_nishino@toyo.jp
- 中 部 487-8501 春日井市松本町1200番地
都市学会 中部大学人文学部大塚研究室内
TEL 0568-51-9107/FAX 0568-52-0622
<e-mail> chubutoshi@isc.chubu.ac.jp
- 近 畿 〒599-8531 堺市中区学園町1-1
都市学会 大阪府立大学経済学研究科綿貫研究室
TEL/FAX 072-428-1761
<e-mail> kinkitoshi@mbn.nifty.com
- 中 四 国 739-8524 東広島市鏡山1-1-1
都市学会 広島大学大学院教育学研究科社会認識教
育学研究室内
TEL 082-820-2345/FAX 082-820-3724
<e-mail> yyui@hiroshima-u.ac.jp
- 九 州 839-8502 福岡県久留米市御井町1635
都市学会 久留米大学経済学部・文化経済学科 浅
見良露研究室内
TEL 0942-43-4411/FAX 0942-43-4797
<e-mail> asami_yoshitsuyu@kurume-u.ac.jp